



Vol. 176

こんにちは としょかんです

発行 延岡市立図書館 〒882-0812 延岡市本小路39-1
TEL 0982-32-3058 FAX 0982-22-0644

2025年



おしらせ

◆「特別資料整理期間」のため、以下の期間図書館は休館・運休となります◆

本館：9月1日（月）～9月29日（月）

ふくろう号：9月1日（月）～9月30日（火）

各分館・せせらぎ号：9月15日（月）～9月29日（月）

※ご迷惑をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いします。（休館期間中は返却ポストをご利用ください。）

「特別資料整理期間」に図書館では何をしているの？



延岡市立図書館（分館含む）では「特別資料整理期間」を毎年設けています。

この期間は休館しているのですが、図書館内ではいったい何が行われているのか、紹介したいと思います。



【蔵書点検】の様子
専用の機械でバーコード
を1冊1冊読み込みます。

特別資料整理期間にまず行われるのが、【蔵書点検】です。

【蔵書点検】はいわゆる図書館の棚卸(たなおろし)作業のようなものです。図書館にあるすべての本や雑誌、視聴覚資料（ビデオテープ・DVD）などに付いているバーコードを1冊ずつ、専用の機械で読み込んでいきます。（今年、本館では約41万冊の資料が対象です）

専用の機械で読み込んだデータとパソコンに登録しているデータを照らし合わせて、行方不明になっている本や、間違った場所に戻されている本はないかを確認していきます。行方不明の本については、館内にその本がないか検索します。

【蔵書点検】の後に行われるのが、【資料整理】です。

図書館の本を正しい場所に順序よく並べることで、図書館を利用する人がどこに本があるか探しやすいように整理をします。

他にも、この期間にしかできないような【本の移動】、【図書館システム端末機器の入替】、【館内掲示の見直し】などを行います。

これからも図書館を気持ちよく利用していただけるように職員一同、日々作業をしています。9月30日（火）からの開館を楽しみにお待ちください♪



【資料整理】の様子
探しやすいように、
本を並べていきます。

9月

延岡市立図書館（本館）カレンダー

10月

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
特別資料整理休館期間（本館・ふくろう号）						
8	9	10	11	12	13	14
特別資料整理休館期間（本館・ふくろう号）						
15	16	17	18	19	20	21
特別資料整理休館期間（全館）						
22	23	24	25	26	27	28
特別資料整理休館期間（全館）						
29	30					
特別資料整理休館期間（全館）	図書館開館					

月	火	水	木	金	土	日
		1 えほんの じかん	2 おはなし会	3 資料整理 休館日	4	5
6 休館日	7 こども 映画会	8 えほんの じかん	9 おはなし会	10	11 行成薫さん 講演会	12
13 祝日開館	14	15 えほんの じかん	16 おはなし会	17	18	19
20 休館日	21 こども 映画会	22 えほんの じかん	23 おはなし会	24	25	26
27 休館日	28	29 えほんの じかん	30 おはなし会	31		

開館時間 【火～金】9：00～19：00 【土日祝】9：00～17：00 ※時間外の返却は、返却ポストをご利用ください。

【えほんのじかん】10：30～11：00 対象：0～3才程度 場所：おはなしのへや

【おはなし会】16：00～16：30 対象：未就学児 場所：おはなしのへや

【こども映画会】毎月第一・第三火曜日 15：00～15：30（約30分） 場所：おはなしのへや



図書館HP Instagram



小説家・行成薫さん講演会 を開催します!!



10/11 (土)、小説家 行成薫さんをお招きして講演会を開催します。

行成さんは、2022年に『本日のメニューは。』(集英社)で第2回宮崎本大賞を受賞しています。

そのことがきっかけで今回延岡に来ていただくことになりました。今回は、「おいしい読書とつながる幸せ」と題して、受賞作でもある『本日のメニューは。』のようなあたたかい気持ちになれる小説がどのように生み出されるのか、作品づくりの裏側をお話していただきます。

9/16(火)より参加者を募集します。ご希望の方は、右のQRコードを読み取って必要事項を入力の上お申し込みください。

詳しくはイベントチラシや図書館HP、図書館公式Instagramでご確認ください。

※当日は託児サービスもあります。希望する方は、参加申し込みとあわせてお申し込みください。

申し込みはこちらから!
行成さんに聞いてみたい
質問も大募集!!



「宮崎本大賞(みやざきほんたいしょう)」ってなに?

「宮崎本大賞」は、宮崎県内の書店員を中心とした本好きが店舗や業態の垣根を越えて集まり、地域の皆様が本に触れる機会が増えるように、また本に関係する場所に集まっていただくことを目的として2020年に設立された賞で、今年で6回目となります。対象となる本は、片手で気軽に読むことのできる文庫本です。合い言葉は、「好きなページはありますか。」。大賞は、毎年3月8日(みやの日)に発表されています。

読んでみらんね? 「宮崎本大賞」歴代の大賞作品



『木曜日にはココアを』
青山美智子//著(宝島社)

僕が働く、川沿いの桜並木のそばに佇む喫茶店「マーブル・カフェ」に、木曜日に同じ席でココアを頼む不思議な常連さんがいる。ある木曜日、その女性の様子がおかしくて…。東京とシドニーをつなぐ12色の物語。

第1回
宮崎本大賞



『本日のメニューは。』
行成薫//著(集英社)

入院中の父に中華そばを出前したい子どもたちが起こした奇跡、マズメシ母に悩まされる女子高生とおむすび屋の女性店主の愛情…。美味しい料理を取り巻く人間ドラマを描く。

第2回
宮崎本大賞



『ひと』
小野寺史宜//著(祥伝社)

母が急死し、たった1人になった20歳の柏木聖輔。空腹に負けて吸い寄せられた商店街の惣菜屋で、聖輔は買おうとしていた最後に残った50円のコロケを見知らぬお婆さんに譲った。それが運命を変えとも知らずに…。

第3回
宮崎本大賞



『三千円の使いかた』
原田ひ香//著(中央公論新社)

「人は三千円の使いかたで、人生が決まるよ」突然の入院、離婚、介護費…。御厨家の女性たちは、人生の節目とピンチを乗り越えるため、お金をどう貯めて、どう使うのか。知識も深まる「節約」家族小説。

第4回
宮崎本大賞



『うちの父が運転をやめません』
垣谷美雨//著(KADOKAWA)

高齢者ドライバーの事故を伝えるテレビニュースを見た雅志は、父親も78歳になることに気づく。不安になって、父親に運転をやめるよう説得を試みるが…。親の運転をきっかけに家族が新たな一歩を踏み出す、心温まる家族小説。

第5回
宮崎本大賞



『じい散歩』
藤野千夜//著(双葉社)

明石家は夫婦あわせてもうすぐ180歳。中年となった3人の息子は全員独身。皆いろいろあるけれど、「家族」の日々は続いてゆく…。家族の可笑しみ、さりげない優しさを描き出した、現代家族小説。

第6回
宮崎本大賞

司書のおすすめの本 ~9月1日は防災の日~



『NG行動がわかる防災事典』

大地震・津波・集中豪雨が起きたその時に

タイチャー//著 みぞぐちともや//本文イラスト(KADOKAWA)



災害が起こった瞬間、「何をすべきではない」か? 大地震・津波・集中豪雨など、突然の災害時にやりがちな「NG」行動と、その代わりに取るべき「正しい行動」をまとめた本。身近な物を使ってすぐに実践できる具体策を伝授。

『身近な危険のサバイバル』

クイズでわかる生き残り大作戦!!

韓賢東//絵 国崎信江//監修 朝日新聞出版//編著(朝日新聞出版)



学校や放課後、街中、ネット…。いつもの生活にも危険がいっぱい! 身近な危険を取り上げ、どんなことに注意すればいいのかをクイズ形式でわかりやすく解説する。サバイバル力がアップするコラムも掲載。

情報提供: 図書館流通センター